

全日本クラブ野球選手権大会出場を報告



9/12

マツゲン箕島硬式野球部

▽：有田市がホームグラウンドの社会人野球のクラブチーム「マツゲン箕島硬式野球部」が8月31日～9月3日まで栃木県で開催された「第48回全日本クラブ野球選手権大会」で優勝！9月12日、有田市の望月良男有田市長を表敬訪問、4大会ぶり6回目の優勝を報告した。

マツゲン箕島硬式野球部から西川忠宏監督、岩田充裕事務局長、原井和也助監督、藤田幸永主将が優勝旗と優勝楯を持参。西川監督が「第49回社会人野球日本選手権へ出場が決まった。全日本ク

予選の一環、5年ぶりに勝ち取ることができた。今期で退任される望月市長に優勝の報告がてきてよかったです。日本

選手権では2勝、ベスト8を目指す。応援よろしくお願いします」と挨拶。

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

◆ ◆ ◆

ラブ野球大会は、ラブ野球選手権大会では、全国から16チームが出場。マツゲン箕島硬式野球部は、初戦を7-1、2回戦3-1、準決勝6-10、決勝9-11（「アーリー」と快勝。西川監督は、ピッチャーがよいこと。コーチ陣の充実が強さに繋がっていると話していた。

日本選手権大会は、10月29日～11月（日程未定）に京セラドームで全国から32チームが出場開催される。

マツゲン箕島硬式野球部の前身が高校野球の強豪校として知られる箕島高校野球部のOBを中心にして1997年3月に発足した「箕島球友会」。監督、助監督、事務局長3人も箕島高校野球部出身で、望月有田市長の先輩にあたる。